

救急科がおすすめする初期臨床研修プラン

札幌医大の救急専門医プログラム（いわゆる後期研修）に入る医師は大きく2通りに分けられます。1つ目は将来的に救急をメインとして働きたい人、2つ目は他の科に行く前に救急専門医を取得したい人です。いずれにせよ救急に興味があるのであれば、初期研修中は、救急医が専従で働く救命救急センターで救急医の仕事を間近に見ることをおすすめします。

救急医療は幅が広いので、どのような研修をしても無駄になることはありませんので、何かありましたら直接ご相談して頂くのが良いかと思います。

1. 研修病院の選択

札幌医大救急からの派遣は市立函館病院救命救急センターがメインであり、市立釧路総合病院救命救急センター、手稲溪仁会病院救命救急センターにも常勤医を派遣しています。他には帯広厚生病院救命救急センター、勤医協中央病院救急センター、市立札幌病院総合臨床センター等に診療応援をしています。

札幌医大の高度救命救急センターは三次救急（最重症）患者の診療がメインのため、他の救命救急センターでの1次、2次救急と、双方を経験することをおすすめします。

また義務年限がある学生さん（北海道医師養成確保修学資金制度、自治医大等）は、初期研修後医師3,4年目に大学病院で研修ができないため、初期研修2年目で大学の救急を経験して欲しいと考えています。個人の希望もあると思いますので初期研修先を決める前にご相談頂きたいです。

Bコース

・救急は外傷、心疾患、脳卒中、消化器疾患の頻度が高いため以下の市中病院での研修をすすめます。

・たすきがけ病院の優先順位

- ① 市立函館病院 ②市立釧路総合病院 ③帯広厚生病院 ④市立札幌病院

救急科の教育関連施設（2020年4月現在）

協力型研修病院 (たすきがけ病院)	市立函館病院 市立札幌病院	市立釧路総合病院	帯広厚生病院
研修協力施設	手稲溪仁会病院	勤医協中央病院	

2. 救急科医になるために研修が望ましい診療科

また大学病院では救急12週で全身管理を学んでもらい、あとは自分が興味のある科の組み合わせになります。

3. コース選択

守備範囲の広い救急医になるためのおすすめプラン

・1年時に初期救急と心疾患、消化器疾患、脳卒中の入院管理を中心に、2年目でより深い専門性を学ぶ。

1年次 協力型研修病院													
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
必修 救急			必修 内科 (循環器)			必修 内科 (消化器)			必修 外科 (消化器)	選択 整形外科	選択 ※	必修 精神科	
2年次 大学病院													
4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週	
必修 救急	選択 救急		必修 地域医療	必修 産婦人科	選択 自分が興味のある科の組み合わせ ご相談下さい								

※脳神経内科または脳神経外科